

手取川・梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会では、確実な避難に向けた取り組みの一環として、住民一人ひとりのタイムラインである『マイ・タイムライン』をつくる講習を実施し、児童を含めて約90名の参加があった。

日 時：平成29年8月1日（火）14：40～15：40
 場 所：能美市防災センター
 参加者：白山市・小松市・能美市・野々市市・川北町の児童約70名
 保護者・関係者含め、全体約90名



『マイ・タイムライン』とは
 住民一人ひとりのタイムラインであり、大雨等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものである。
 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。



マイ・タイムラインの例

マイ・タイムライン策定の流れ

自分の住んでいる場所が
浸水区域内に入るか知ろう



想定最大規模の浸水想定区域図へ自分の住んでいる場所にシールを貼ってもらい、浸水想定箇所かどうかを知ってもらおう



自分の住んでいる場所の
浸水深を知ろう



一般的な2階建ての家と浸水深を重ね合わせた図を見せ、自分の家がどの位浸水するか知ってもらおう



避難所の場所や避難する
ルートを考えよう



ハザードマップで避難所の場所を知り、危険な場所を選けたルートを考えてもらおう



ハザードマップ

洪水時の自分のする事を
考えよう



大雨が降った時を想定し、『いつ準備するか』、『いつ避難するか』を考え、マイ・タイムラインを作る

